

『吐く言葉』 作：ポチ子

『吐く言葉』 作：ポチ子

私の吐く言葉なんか、

誰も見てくれない。

必要とされてない。

魅力も無い言葉ばかり吐く、

自分が悪いのに、

同じように吐き出した言葉で、

愛されるあの子に嫉妬する。

正当な評価が下されてないなんて、

生意気に考えて、

『吐く言葉』 作：ポチ子

周りが悪いんだって決めつけて。

ただ、

あの子の言葉には価値があつて、

私の言葉には価値がない。

それだけなのにね。

温かい言葉も、

冷たい言葉も、

樂觀も、悲觀も、

あの子は上手に吐ける。

私には出来ないこと。